

製品名: GNPAT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11564**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	GNPAT
別名	GNPAT; DAPAT; DHAPAT; Dihydroxyacetone phosphate acyltransferase; DAP-AT; DHAP-AT; Acyl-CoA:dihydroxyacetonephosphateacyltransferase; Glycerone-phosphate O-acyltransferase
遺伝子 ID	8443.0
SwissProt ID	O15228
免疫原	抗血清はヒト GNPAT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

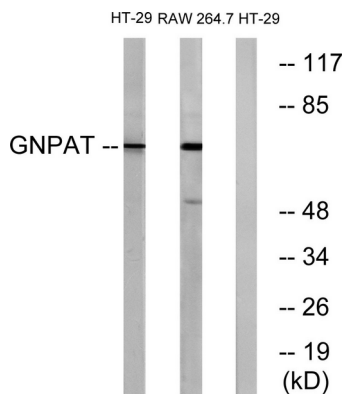
背景

この遺伝子は、ペルオキシソーム膜に存在するエーテルリン脂質の合成に必須の酵素をコードしています。この遺伝子の変異は、肢根型点状軟骨異形成症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015年10月],触媒活性: アシル CoA + グリセロンリン酸 = CoA + アシルグリセロンリン酸。疾患: GNPAT の欠陥は、肢根型点状軟骨異形成症 2 型 (RCDP2) [MIM:222765]の原因です。RCDP2 は、大腿骨および上腕骨の根茎短縮、脊椎障害、白内障、皮膚病変、および重度の知的障害を特徴とする。ドメイン: HXXXXD モチーフはアシルトランスフェラーゼ活性に必須であり、グリセロール-3-リン酸のリン酸部分の結合部位を構成する可能性がある。経路: 膜脂質代謝、グリセロン脂質代謝。類似性: GPAT/DAPAT ファミリーに属する。細胞内局在: ペルオキシソーム膜の内腔側にのみ局在する。サブユニット: DAP-AT、ADAP-S、および DAP-AT の改変型からなるヘテロ三量体複合体の一部である可能性がある。

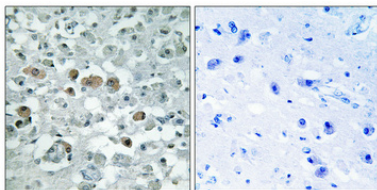
研究分野

グリセロン脂質代謝

画像データ



GNPAT 抗体を用いた HT-29 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。